

令和7年度 学校評価（自己評価）の集計結果と考察

1 調査の概要

- (1) 方法 質問紙法
 (2) 実施日 令和7年10月10日（金）～22日（水）
 (3) 対象

	対 象	回答数	回収率	備考	
自己評価	教職員	72	76	105.6%	※非常勤講師も回答したため
	高等部生徒	28	24	85.7%	
	保護者	63	57	90.5%	小 20, 中 16, 高 21
外部評価	学校運営協議会委員	8	7	87.5%	
外部アンケート	堀切地区住民代表	3	2	66.7%	
	地域支援関係 (保幼、小、中、高)	29	22	75.9%	

(4) 集計方法

回答は、A「そう思う」、B「だいたいそう思う」、C「あまりそう思わない」、D「全くそう思わない」の4段階とし、質問により記述欄（改善案等）を設けた。

(5) 分析方法

下記により、全体に占める、A・Bの回答の割合により分析。

- ・ AとBの合計が全体の80%未満の項目は改善を要するものとする。
- ・ 前年度分のA・B回答が占める割合（%）と比較を行い、改善状況を考察する。
- ・ なお、従前からの点数化による平均値も算出・併記し、参考とする。

2 結果の概要 ※（ ）は前年度比

(1) 改善を要する（80%未満）項目

なし

<参考>昨年度に改善を要するとされた項目

教職員	26	本校は、業務の精選、簡素化、効率化とスリム化を図り、業務改善を推進している：79.4%（+10.3%）C:12名 D:2名
高等部生徒	9	学校の先生たちは、いじめの問題があるとすぐ取り組んでくれる。：75.0%（-7.6%）C:4名 D:2名
	17	寄宿舎は、楽しい：78.9%（-10.6%）C:4名

(2) 昨年度より5%以上、上昇した項目 表：オレンジ色枠内

教職員	8	本校は、社会で自立して、地域の復興を願い、力強く生きる教育に取り組んでいる：94.7%（+5.2%）
	10	本校は、関係する市町村、関係機関と連携して一人一人の支援のネットワークを築いている。：94.7%（+5.2%）
	12	本校は、久慈圏域の特別な支援が必要な幼児児童生徒の相談支援を進め、地域の中核となる人材を育てている：100%（+7.0%）
	18	本校は、全職員、保護者、関係機関、地域の方々が学校経営に参画できる体制「チーム拓陽」を推進している：94.7%（+5.2%）
	20	私は、児童生徒の人権を尊重し、不適切な指導を根絶するために職員間の情報共有と連携を図っている：100%（+8.8%）

保護者	9	学校は、通信やホームページなどで保護者に必要な情報を伝えている：100% (+5.8%)
高等部生徒	7	部活動が、楽しい：95.0% (+12.6%)
	8	学校の先生たちは、悩みや相談など話をよく聞いてくれる：91.7% (+8.4%)
	9	学校の先生たちは、いじめの問題があるとすぐ取り組んでくれる：91.7% (+16.7%)
	17	寄宿舎は、楽しい：88.9% (+10.0%)
地域支援	20	寄宿舎まつりや舎友会行事などの活動に満足している：100% (+10.5%)
	3	本校の相談支援の回数や時間は、適切である：95.5% (+10.5%)
	4	本校の相談・研修支援の活用が、貴園貴校の特別支援教育体制の充実につながっている：95.5% (+5.0%)

<参考>昨年度、評価が前年度を5%以上上回った項目

教職員	26	本校は、業務の精選、簡素化、効率化とスリム化を図り、業務改善を推進している：77.2% (+8.1%)
高等部生徒	6	学級の仲間と楽しく過ごせている。：95.8% (+8.8%)
	11	卒業後どのような進路先があるか知る機会がある。：95.8% (+17.5%)
	14	学校の先生たちは、頑張ったとき、ほめてくれる。：95.8% (+8.8%)
	18	寄宿舎の先生たちは、話をよく聞いてくれる。：90.0% (+5.8%)

(3) 昨年度より5%以上、下降した項目 表：水色枠内

高等部生徒	14	学校の先生たちは、頑張ったとき、ほめてくれる：87.5% (-8.3%)
	19	寄宿舎の先生たちは、病気やけがをしたとき、すぐ対応してくれる：83.3% (-6.2%)
	21	部屋や棟の仲間と楽しく過ごせている：83.3% (-6.7%)

<参考>昨年度、評価が前年度を5%以上下回った項目

教職員	8	本校は、社会で自立して、地域の復興を願い、力強く生きる教育に取り組んでいる。：89.5% (-9.0%)
	9	本校は、児童生徒一人一人の希望と生きがいを大切にした自立と社会参加を目指している。：94.7% (-5.3%)
	10	本校は、関係する市町村、関係機関と連携して一人一人の支援のネットワークを築いている。：89.5% (-9.0%)
	12	本校は、久慈圏域の特別な支援が必要な幼児児童生徒の相談支援を進め、地域の中核となる人材を育てている。：93.0% (-7.0%)
	18	本校は、全職員、保護者、関係機関、地域の方々が学校経営に参画できる体制「チーム拓陽」を推進している。：89.5% (-6.1%)
高等部生徒	1	学校は、楽しい。：88.0% (-7.7%)
	5	保健体育や芸術（音楽・美術）、特別活動や自立活動、総合的な探究の時間などで、自分に必要なことを学べている。：91.7% (-8.3%)
	7	部活動が、楽しい。：82.4% (-7.1%)
	8	学校の先生たちは、悩みや相談など話をよく聞いてくれる。：83.3% (-12.4%)
	9	学校の先生たちは、いじめの問題があるとすぐ取り組んでくれる：75.0% (-7.6%)
	17	寄宿舎は、楽しい。：78.9% (-10.6%)

高等部生徒	19	寄宿舎の先生たちは、病気やけがをしたとき、すぐ対応してくれる。: 89.5% (−10.5%)
地域支援	1	本校の相談・研修支援事業は、活用しやすい。: 95.0% (−5.0%)
	3	本校の相談支援の回数や時間は、適切である。: 85.0% (−12.0%)
	4	本校の相談・研修支援の活用が、貴園貴校の特別支援教育体制の充実につながっている。: 90.5% (−9.5%)

(4) 肯定的な (AとBの) 回答合計が 100%の項目

教職員	12	本校は、久慈圏域の特別な支援が必要な幼児児童生徒の相談支援を進め、地域の中核となる人材を育てている。
	14	本校は、PTA や地域の活動に参加し、積極的に地域との連携や貢献に取り組んでいる。
	20	私は、児童生徒の人権を尊重し、不適切な指導を根絶するために職員間の情報共有と連携を図っている。
	21	私は、児童生徒の人権を尊重し、不適切な指導を根絶の根絶を意識して、日々の指導支援を行っている。
	22	私は、いじめにつながる状況がないか、目配りや情報収集を行っている。
	23	私は、いじめに関する校内研修会に参加又は資料で内容を確認している。 (1回目: いじめ防止校内研修会 6月職員会議後に実施、2回目: 学校教育室指導主事による研修会 7月)
保護者	9	学校は、通信やホームページなどで保護者に必要な情報を伝えている。
高等部生徒	2	作業学習や実習で、働く力が付いている
	11	卒業後どのような進路先があるか知る機会がある
	20	寄宿舎まつりや舎友会行事などの活動に満足している。
学校運営協議会	全項目	
堀切地区	全項目	
地域支援	5	(該当園のみ回答) 本校職員の園訪問等は、貴園園児の就学支援に役立っている。

3 分析・考察

(1) 回収率について

自己評価、外部評価ともに回収率 85%を超えており、信用に足ると考える。外部アンケートは対象数が少なく、回答数により結果が偏るため、数値は参考にとどめる。

(2) 結果(改善を要する項目)

肯定的な評価が 80%未満の項目はなかった。しかし、高等部生徒の評価において、「寄宿舎の先生たちは、病気やけがをしたとき、すぐ対応してくれる (R5:100%、R6:89.5%、R7:83.3%)」と「部屋や棟の仲間と楽しく過ごせている (R5:94.7%、R6:90.0%、R7:83.3%)」の2項目は連続して減少しており、改善を要すると考えられる。

(3) 考察

①自己評価

ア、教職員

- ・「不適切な指導の根絶する体制の構築」に関する4項目は全て 100%であり、各種研修等を通じて教職員の意識が向上しているといえる。
- ・昨年度課題であった校務処理の効率化と簡素化、及び業務の整理と引継ぎの効率化が改善されており、業務改善が推進されてきているといえる。一方自由記述において、一部職員への業務の

偏りによる多忙（多忙感）が述べられており、さらなる業務の効率化や会議時間の短縮の工夫、不要な会議の削減等に取り組んでいく必要がある。併せて、教材教具フォルダが十分に活用されていないため、これをどのように活用することが有効かを検討していく必要がある。

イ、保護者

- ・ 1項目を除いて肯定的な回答が95%を超えており、満足度が高いことが推察される。

ウ、高等部生徒

- ・ 「作業学習や実習で、働く力が付いている (R7:100%)」「卒業後どのような進路先があるか知る機会がある (R7:100%)」「学校の先生たちは、卒業後の進路や生き方について考える手伝いをしてくれる (R7:95.8%)」など、卒業後（進路）に関わる取組への満足度が高く、指導が充実していると感じている生徒が多いといえる。
- ・ 昨年度改善が必要とされていた「学校の先生たちは、いじめの問題があるとすぐ取り組んでくれる (R6:75.0%)」は大幅に改善 (R7:91.7%) されている。
- ・ 一方、「学校の先生たちは、頑張ったとき、ほめてくれる (R6:95.8%)」は-8.3% (R7:87.5%) で教員にもっと褒められたいと考えている生徒がいることがわかった。
- ・ 昨年度改善が必要とされていた「寄宿舎は楽しい (R6:78.9%)」は+10.0% (R7:88.9%) と改善されている。
- ・ 一方、「部屋や棟の仲間と楽しく過ごせている (R6:90.0%→R7:83.3%)」「寄宿舎の先生たちは、病気やけがをしたとき、すぐ対応してくれる (R6:89.5%→R7:83.3%)」はそれぞれ-6%以上であり、対応が必要であると考えられる。

②外部評価（学校運営協議会委員）

- ・ 全ての項目で肯定的な評価であり、学校運営に関する満足度が高いことが視察される。

③外部アンケート（堀切地区、地域支援）

- ・ 全ての項目で肯定的な評価であった。
- ・ 特に、地域支援において、「本校職員の園訪問等は、貴園園児の就学支援に役立っている」と捉えている園（教育委員会）が多く、地域の相談支援における中核をなしているといえる。

(4) まとめ

教職員の回答から「業務改善の推進」は一定の評価を得ているが、さらに継続して進める必要がある。

保護者からは肯定的な回答が多く、今後も丁寧な情報提供等を行い、協力を得ながら学校運営を継続をしていく。

高等部生徒については、昨年度の課題（いじめの問題に対する対応）が改善され、且つ「先生方は悩みや相談など話をよく聞いてくれる (+8.4%)」等、安心・安全な学校生活を送ることができている。その一方で、寄宿舎生においては、生活上の対応について改善を求めている生徒が一定数おり、きめ細やかな対応の必要性がある。

その他、学校運営協議会委員、堀切地区住民、地域支援については肯定的な評価をいただいております。今後も継続していきたい。

＜保護者の自由記述に対する回答＞

改善を求める意見や要望について、その内容と今後の改善の方法・対応は次の通りです。

	意見・要望	改善の方法・対応
	<p>6 学校は、お子様の健康や安全に配慮して適切に指導している。</p> <p>・指導はしていると思うが、足りていないと思う (高等部保護者)。</p>	<p>〔保健部〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的には、学級及び学部で指導する。 ・学部集会等の際に指導する内容と時期の計画を生活指導部と保健部で立てる。 ・日常生活の指導時間を有効に使う。特に、体重測定後など 15～20 分程度の時間を利用して学級で生活・保健・食等について指導する。 <p>〔生活指導部〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部集会での講話、生徒指導通信での発信を継続して取り組む。 ・指導事案への対応については、引き続き情報共有シート等を活用し、各担任、学年学団、学部寄宿舎と連携して対応する。 <p>〔高等部〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、学級で健康や安全について学びを深める時間をきちんととっていくことが必要ではないかとの意見が出された(今後検討)。
2	<p>8 P T A 活動は、活発に行われている。</p> <p>・「活発」かと問われると？である(中学部保護者) ・PTA 活動は、活発ではないと思う(高等部保護者)</p>	<p>〔副校長〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何をもって活発とするのかが曖昧な質問であった。次年度は具体的な活動を示して P T A 活動について問うこととしたい。 <p>〔総務部〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R 6 の学校評価(保護者)より「事情があって参加できないから」という意見もあり、誰でも活動しやすい P T A 役員の業務精選、P T A 活動の見直しもしていきたい。